

戸開走行保護装置

定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号 ENNNUN-2395, 2397, 2399, 2401, 2403 UCMP 型式 RG2-626, RG2-624, RG2-622, RG2-620, RG2-618 型

発行 : 令和 2 年 6 月 30 日 Ver. 1

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	UCMP 盤型式	型式	目視により確認する。	大臣認定を受けた型式と同一でないこと。
(2)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムの型式を確認する。	PLC に記載されたプログラム型式が、大臣認定を受けたものと異なること。
		電磁接触器の経年	稼働回数又は経年を確認する。	各接触器が規定回数に到達又は 10 年を経過していること。 SR1 : 50 万回到達/10 年経過 SR2 : 200 万回到達/10 年経過 SR3 : 200 万回到達/10 年経過 ASR : 10 万回到達/10 年経過
(3)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触手により確認する。	・取付けが強固でないこと。 ・著しい変形、破損、錆、腐食があること。
		長さ	メジャー等により測定する。	規定値未満であること。
(4)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	・取付けが強固でないこと。 ・過度の変形があること。
		作動の状況	動作位置を確認する。	着床位置から規定値以内で動作しないこと。 規定値 : ±75 mm 以内 ±50 mm 以内 (SMART 機種)
		劣化の状況	カウンタ読取又は経年を確認する。	起動回数が 1,000 万回を超えていること又は設置後 10 年を経過していること。
(5)	待機型ブレーキ	型式	目視により確認する。	型式が大臣認定を受けたものと異なること。
		押付力の確認	目視により確認する。	摩耗限界スイッチが作動すること。
		パッドの厚さの状況	金尺等により制動板の間隔を測定する。	ブレーキ作動時の固定制動板と可動制動板の間隔が指定寸法未満であること。
		復帰ユニット	目視により確認する。	復帰しないこと。
		健全性の監視	待機型ブレーキの電源を遮断し動作確認を行う。	・待機型ブレーキが動作しないこと。 ・動作時警報が発しないこと。
(6)	待機型ブレーキ動作感知装置	作動の状況	ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号動作を確認する。	ブレーキ開放時に接点が開でない、又は締結時に接点が閉でないこと。
		寿命	経年を確認する。	設置後 20 年を経過していること。
(7)	かご戸スイッチ	スイッチ全閉位置からの距離	メジャー等により測定する。	ドア全閉位置から 20mm を超えていること。
(8)	システムの機能検査	作動の確認	戸開き状態で、床位置停止中（無負荷）にかごを上昇（微速）させ、特定距離感知装置を通過させる。（RG2-622, 624 の C1, C2 ローディング付き：乗り場床とかご床との距離、それ以外はかご床と乗り場上枠との寸法を測定する。）	・特定距離感知装置が感知しないこと。 ・規定距離以内に制止しないこと。 ・制止距離の年次変化量が制動距離の 70% 以下、又は 140% 以上

※ C1 ローディング : フォークリフトなどで荷物を搬入。フォークリフトも一緒に運搬する場合。

C2 ローディング : フォークリフトなどで荷物を搬入。フォークリフトは一緒に運搬しない場合。

（荷物搬出入時のみ、フォークリフトの乗り込み） **フォークリフト仕様**

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社